



**美しい人形たちに願いを込めて
 ～黒磯雛めぐりスタンプラリー～**

黒 磯地区で、3月31日まで開催している「雛めぐりスタンプラリー」。5エリアを巡ってスタンプを集めると、豪華商品が当たる抽選に応募できるほか、28組の雛人形が待つ「奥那須・大正村幸乃湯温泉」では温泉入浴料が無料になるサービスも受けられるとあって大好評。各会場に飾られた美しい雛人形は、よく見るとそれぞれ違った顔を持っており、訪れたお客さんの目を楽しませていました。



12「幸乃湯温泉」の豪華絢爛な8段飾りとかわいいつし雛
3道の駅「明治の森・黒磯」でお客さんを迎える女雛と男雛
4「高林寺」の雛壇は約40年前の代物 **5**「くるる」の雛人形
6「ファッション&ブックわかまつ」の店内を雛人形が彩る



**ふかふかのパウダースノーを満喫
 ～スノーシュー自然散策プログラム～**

2 月5日に開催された塩原温泉ビジターセンター主催の冬の散策プログラム「ネイチャーウオーク大沼公園」。大沼園地を発着としたこのプログラムに市内外から5人が参加し、雪上の動物の足跡や、冬芽の観察を行いました。前日から降った雪のおかげで新雪に覆われたフィールドは、最高のコンディションに。ふかふかのパウダースノーを巻き上げて、野ウサギのように縦横無尽に駆け巡っては、冬山ならではの散策を堪能しました。



**寒くても転んでも、一緒なら楽しい！
 ～横林小学校スケート教室～**

横 林小学校の冬の風物詩、「田んぼを使った天然氷のスケート場」が今季も登場。2月7日には、同校の全校生徒9人がバトンリレーやアイスホッケーを行いました。寒さに負けずスイスイと氷上を滑走し、仲間の背中やボールを楽しそうに追いかける児童たち。5年生の八月朔日琴春さんは「特に楽しいのは、アイスホッケーです。1年生のときから練習してきたので、滑るのは難しくありませんよ」と、はにかみながら話してくれました。



**図書館が「芸術に出会う空間」に
 ～ART369 Entrance～**

3 月1日から13日まで、那須塩原市図書館「みるる」でアートイベントが開催されました。来場者参加型の公開制作を行った木城圭美さん(写真5)は「皆さんの作品の近くに何を描き足そうか、思わずウズウズ。とても刺激になりますね」と笑顔。市内から訪れた加藤伊佐さんは「コロナ禍で自主休園が続く中、子どもに貴重な経験をさせることができ良かったです」と話し、お絵描きを楽しみ駿介さん(表紙)の背中を優しく見守っていました。



123 栃木県にゆかりのある作家などの作品を館内6カ所で展示。絵画から立体作品まで作風は多種多様 **4**「アート」「旅」などのテーマに合った本に出会える、図書館ならではの選書コーナー **5** 芸術家の巧みな筆さばきを間近で鑑賞

特設サイトはこちら 



**上手に近づけられるかな？
 ～鍋掛小学校 ボッチャ体験～**

い ちご一会とちぎ国体・とちぎ大会やパラリンピックで公式競技になっているボッチャの体験が、1月27日に鍋掛小学校で行われました。地上のカーリングとも言われるこの競技は、白い目標の球に自分のチームの球を多く近づけられると高得点。参加した5年生の石塚和奏さんは、「初めてでも、みんなのできるスポーツだった。うまくできたときは自分でもびっくりした」と楽しそうに話してくれました。



**鬼なんて怖くない！
 ～永田保育園 豆まき～**

節 分の2月3日、永田保育園では恒例行事の豆まきが行われました。太鼓の音と共に登場し園内を歩き回る赤鬼と青鬼。大きな金棒を持って追いかけてくる鬼たちに、泣き出してしまいう子も。それでも、新聞紙で作った豆を投げて勇敢に立ち向かう子どもたち。1年間の健康と幸せを祈って、「福は内！ 鬼は外！」。鬼たちを退治した後は福の神様が園内に現れ、子どもたちを笑顔にしていました。